

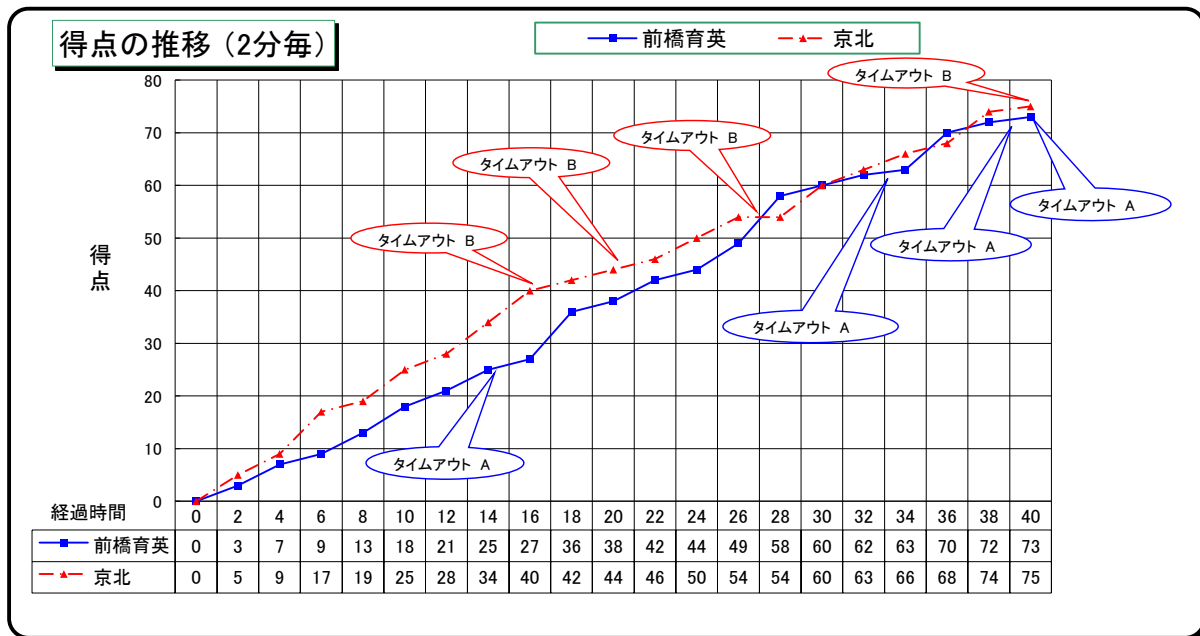
平成23年度 第22回 関東高等学校バスケットボール新人大会 【男子】 <準決勝>

平成24年 2月12日(日)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会2日目	Aコート	第1試合 10:30~										
<チームA> <b style="font-size: 1.2em;">前橋育英 群馬	73 { <table style="display: inline-table; border: none; vertical-align: middle;"> <tr><td style="padding: 0 5px;">18</td><td style="padding: 0 5px;">1Q</td><td style="padding: 0 5px;">25</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">20</td><td style="padding: 0 5px;">2Q</td><td style="padding: 0 5px;">19</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">22</td><td style="padding: 0 5px;">3Q</td><td style="padding: 0 5px;">16</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">13</td><td style="padding: 0 5px;">4Q</td><td style="padding: 0 5px;">15</td></tr> </table> } 75	18	1Q	25	20	2Q	19	22	3Q	16	13	4Q	15	<チームB> <b style="font-size: 1.2em;">京北 東京
18	1Q	25												
20	2Q	19												
22	3Q	16												
13	4Q	15												
主審: 佐藤 誠(指)		副審: 秋葉 智(茨)												

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	古賀 雷	11	1	4		3
◎	5	前田 英典	26	2	8	4	3
◎	6	芹川 拓人	9	1	3		2
◎	7	渡邊 健太	18		9		5
	8	館野 拓也					
◎	9	樋口 愛稀	8		4		
	10	桑原 錦					
	11	佐藤 正太郎					
	12	金子 浩樹					
○	13	水尻 比呂	1			1	1
	14	田口 雅治					
	15	熊谷 大聖					
	16	久世 健人					
	17	唐澤 知将					
	18	渡辺 航					
コーチ		安西 智和					
合計			73	4	28	5	14

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
○	4	澁田 貴大	11		5	1	3
◎	5	新川 敬大	13	1	5		3
◎	6	石原 卓	8		3	2	1
◎	7	吉川 治耀	5	1	1		3
◎	8	川久保 駿	23	3	7		1
	9	徳永 滋紀					
◎	10	浅見 陸人	15		5	5	4
	11	平岩アンソニーコリン					
	12	吉田 亘					
	13	福本 哲也					
	14	浅香 陽光					
	15	盛満 拓郎					
	16	山口 尚志					
	17	鈴木 竜誠					
	18	堀口 元気					
コーチ		田渡 優					
合計			75	5	26	8	15

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



戦評	記入者: 宮河 猛
----	-----------

第1P. 決勝進出をかけた準決勝、ディフェンスは前橋育英がオールコートマンツーマン、京北がハーフコートマンツーマンで試合開始。育英は⑦渡邊のインサイドなどで得点を重ねていく。一方、京北は⑧川久保が3pを2本含む14得点をあげ、徐々に点数差を広げる。25-18京北リードで終了。

第2P. 7点ビハインドの育英はオールコートでプレッシャーをかけ流れを掴もうとする。しかし、京北は巧みにそれをかわし、⑤新川の3pなどで差を広げる。10点差がついたところで育英はタイムアウトを請求。タイムアウト後、育英はオールコートゾーンディフェンスに変え、打開を図る。一時15分まで差がついたが、育英のディフェンスが機能し、京北は得点が止まってしまう。育英が④古賀、⑦渡邊など5連続得点で猛追し、6点差まで挽回する。44-38京北リードで前半終了。

第3P. 育英はオールコートマンツーマン、京北はハーフコートマンツーマンで後半開始。育英は④古賀、⑥芹川のドライブインなどを中心に攻撃を組み立てる。一方、京北は⑥石原を中心に素早いパス回しで得点を重ねていく。育英は中盤、ディフェンスをゾーンに変え、流れを引き寄せる。育英⑤前田がバスケットカウントを含む3連続得点と活躍し逆転に成功。その後、一進一退の攻防が続く。60-60の同点で最終ピリオドへ。

第4P. 両チーム、勝利への執念からディフェンスのプレッシャーが激しくなり、得点が伸びない。その中でファウルが増え、育英⑦渡邊が残り3分5秒ファウルで退場してしまう。京北はそのフリースローを⑩浅見が沈め、着実に加点していく。一方、育英も④古賀が果敢にドライブインを仕掛けて応戦する。緊迫した展開が続く、残り時間28秒、育英は1点ビハインド(74-73)でタイムアウトを請求。タイムアウト後、育英の攻撃。⑬水尻がゴール下のきついポジションでボールをもらいシュートを放つが、ディフェンスに阻まれ不成功。リバウンドは京北。すぐさまファウルで時計を止める。残り5秒。京北のタイムアウトを挟んだ後のフリースロー。京北④澁田が1本目を決めるも、2本目を落とす。リバウンドを取った育英は④古賀がドリブルで運び、3pライン手前からシュートを放つ。しかし、最後のシュートは外れてしまい75-73で試合終了。京北が大接戦を制し、決勝に進出した。